

# 製本のススメ

Vol. 44

「暑さ寒さも彼岸まで」いよいよ秋の本番です。楽しかった夏の思い出に浸りつつ冬休みの計画も立て始めなくてははいけませんね。でもその前に、遊んじゃった分をしっかりと働いておかないと、財布の中身に秋風が吹きますからご注意あれ。

今回は1頁の落とし穴のお話

顧客と打ち合わせ最中に『見積りより1頁増えるんだけど、金額はたいして変わらないよね』と言われた事はありませんか？例えば12頁が13頁になる場合製本では(13が14でも)紙1台増えるわけですから、ペラ丁合い以外では「貼り込み」という作業が発生します(中綴じ・上製本)この貼り込み加工は大変手間がかかり、また紙目や紙癖にも作業時間が左右されます。当然 **作業時間に差が出て納期問題に直結**しますが、同時に**製本価格にも大きく影響が出てきます**。また貼り込まれる場所によっても、ビックリするほど価格が変わる事もあります。

また逆に頁の増えたほうが安価で早い場合もあります。14頁だった本が16頁になれば折台数が1台になりますから、14頁(8p+4p+ペラ)の3台から1台に製本工程が減り**価格も安くなります**。つまり製本加工は加工単位で価格がついており、加工数が多ければ金額も増えるわけです。**頁数の増減で金額が増減するわけではない**のです。同じ8頁の中綴じであっても、四つ折1台の中綴じと、二つ折2台の中綴じでは**作業工程数に差が出ています**ね、当然製本金額も変わります。無線綴であっても、扉や、折込みなど途中に入る場所によっては、折1台を分解しなくてはならず、かえって工程数が増えてしまい予想外の金額になってしまうことも珍しくはありません。

顧客との打ち合わせでは、印刷の後工程も考慮して総体の頁数や、面付けなども話し合っておきたいものです。

ちなみにコンビニ等で売っている低価格の「美味しんぼ」や「ゴルゴ13」の様な本はすべて16頁印刷(又は32頁印刷)になっています。うっそお~と思う人は、ぜひ一度頁数を数えてみてはいかがでしょうか？



## Teabreak

座禅に使われる平らな棒。あの棒は「警策(けいさく)」と呼びます。叩かれると物凄く痛そうですが、実は肩凝りのツボと脳神経に繋がるツボを刺激しているそうで、座禅中の緊張をほぐし、寝気やだれ切った気分を引き締める事ができます。秋は連休が目白押し！夏休みボケのままと言う人には気合一発！座禅はオススメです！

by (株) 井関製本